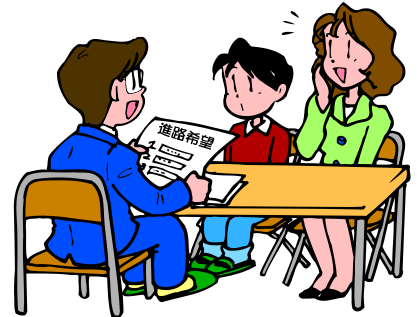




☆夏の三者面談に向けて考えること～PTA資料より～☆

(1) 進路決定は慎重に

「十人十色」といいますが、人間の生き方にも、一人ひとりにあった生き方があります。「自分は何のために進学するのか」という目的や目標を改めて確かめる機会です。また、「これからの3年間をどう過ごそうとするのか」、「3年後にどうしようとするのか」などの考えや意欲を十分なものにしておきたいものです。毎年高等学校等に進学してから、「この高等高等学校は自分のくるところではなかった」とか「学科が自分にあわない」とかの理由で、中途退学者が年々増加傾向にあります。



- 安易な気持ちで進学先を決定したが…、更に上級学校(大学)で学ぶためには他の学科がよかった
- 点数で入れる公立高等学校に入ったが…、自分の学びたい場所はここではなかった。
- 自分のあこがれの高等学校に入ってみたが…、あまりにもレベルが高すぎて…。

子どもの将来、人生を左右する大事な進路決定でもあります。悔いの残らぬように慎重に時間をかけてじっくりと語り合い、進路を決めてください。

【高校退学者の内訳】 ◎ 進路変更 (5割) ◎ 学業不振・不応 (3割) ◎ 生活の乱れ (1~2割)

(2) 子どもの学力も考慮して

高等学校入学後、学力の点で悩みを抱えている生徒が多数いることも考えに入れておくべきことです。親としてどうしても「期待感」が先行しますので、このことについては担任の意見もよく聞いて、冷静に判断し、子どもがのびのびと学習やスポーツに実力を発揮できる高等学校等を選択する必要があると思います。

(3) 子どもの特性(個性)をよく考えて

子ども一人一人、かけがえのない特性(個性)を持っているものです。子どもが高等学校等の生活に適応し、将来生きがいのある人生を送るためには、子どもの性格や体力、職業への興味・関心・能力・適性などの個性に目を向け、また、学力や運動能力などの能力を考え、自分にあった生き方を見つけていけるよう、親として援助していきましょう。

(4) 志望している学校、学科の特色をよく知ること

子どもの志望する高等学校の教育目標、校風、学習指導、生活指導、クラブ・部活動の様子や3年後の進路状況等について、親としてしっかりと知識と理解を深めてください。通学や学費についても調べておきましょう。

(5) あくまでも進路の決定は本人の意志を大切に!

いろいろな意見を聞き、自分自身をとりまく諸条件を考慮していろいろな角度から総合判断し、責任を持って本人が決めるべきでしょう。親や教師の押しつけは、主体的に取り組めない状況が予想されます。決定したら、志望校突破を目指して、全力を傾けられる体制をつくりあげましょう。そして、入学したら自分の学校に誇りをもって、3年間充実した学校生活を送って欲しいと強く願っています。

◎ 3年生を対象に「夏休み勉強会」を実施します!
午前の部9:00~12:00・午後の部13:00~16:00

※全15回・3-2教室にて
※約70名が参加します!